

ゴルゴ松本さんが少年院で行う「命」の授業



にこにこ新聞 日々樂々 平成27年5・6月号 第72号

「命」「祝い」といった体文字のギャグでおなじみの、お笑い芸人・ゴルゴ松本さん。彼は、2011年からボランティアで全国の少年院を慰問し、精力的に講演活動を続けています。

少年たちに、自身のネタである「命」をキーワードとして、漢字を使つたうんちくで「授業」を行うゴルゴさんの姿が、あるテレビ番組で紹介されました。

番組の中でゴルゴさんが向かったのは、十三歳から十五歳までの少年四十数名が収容されている、全国唯一の初等少年院「赤城少年院」。小・中学生という幼い世代でありながら、犯罪に手を染めてしまった少年たちを前に、彼は時には芸人らしく面白い話で爆笑を誘い、時には真剣で熱

		い言葉を繰り出し、授業を開します。
		「弱音は吐いていい。愚痴をこぼしてもいい。でもその後が大事。少しづつでいいからマイナスの事を言わないようにして、ポジティブ思考になる。“吐く”から、マイナスを取りると“叶う”になる。ポジティブに考えれば夢は叶うんだ」
		「人生で危険だと思う場面に出了わしたら、逃げていいいんだ。少し時間をおいて、“じんによう”を“ぞへん”に変えて、また“挑め”ばいいんだ。」「幸せ」と“辛い”は似ている。幸せな状態でも、何かが欠けたら辛くなる」
		「苦しい、困る、災い。」「難」をつけたら、苦難、困難、災難。こうこう事が起きない人生を“無難な”人生という
		が、何も難がない人生なんていない。逆に、こうこう事が起きる人生を“有難い人生”といいます。“有難う”です。」「“命”。この字は人を一叩きと書く。でも、殴ったり、蹴ったり、相手を痛めつけることで命を感じるのは大間違い。人が眠っている時にも無意識の時にも叩いてくるものがあるだろ？。もう、心臓。この鼓動の一叩き、一叩きが“命”だ」
		最初は「芸能人が来た！」といふ興味本位でのぞんでいた少年たちが、ゴルゴさんの熱い語り口と、わかりやすい漢字の引用に心奪われたのか、次第に態度を変えていきました。皆が手元のノートを広げ、ゴルゴさんの言葉を必死に書きとめてこうこうなるので

たゞさんの苦労を重ね、芸人になるところ夢を叶えたといつ「コル」さんは、「子どもたちに諦めちゃいけないんだって伝え続けたい」と語っています。

少年犯罪や家庭内での事件が増え、それに伴って、子どもとの関わりに迷いや不安を感じる大人も増えています。けれども、「コル」さんの姿は、一つの希望を与えてくれます。大切なことを本気で伝えたいと感じ、行動に移す真剣な人の言葉は、必ず子どもたちの心に届いていく……そういう信じたいと思います。

この日、何の日？

日本では、一九九一（平成三）年に厚生省（現・厚生労働省）健康政策局看護課・日本看護協会などが、この日を「看護の日」と制定しました。



ンス・ナイチングールの誕生日です。ナイチングールは十九世紀にイギリスで活躍し、その功績から「近代看護の母」「クロニアの天使」として世界中に知られています。一九七四年、国際看護師協会（ICN）により、五月十一日が国際ナースデーとして制定され、「ナイチンゲールの日」とも呼ばれるようになりました。

要望書には、「看護の心、ケアの心を、ひらく国民の、女も男も等しく分かち合ひ、特に二十一世紀の高齢化社会を担つていく子供たちにも、その心をはぐくんでいきたい」という願いが綴られました。

毎年この日を含む週の日曜日から土曜日までが「看護週間」となります。その中央行事として、「忘れられない

五月十一日 看護の日

五月十一日は、フローレ
められたものです。

められたものです。

6 0
7 74
6 63
60 72
52 61
18 68
38

平成27年 bingo 第3回

3回目のbingo発表！
bingo！」2回目で出ました。
選の方おめでとうございます。
ご当選者は残り5人！！



リフォームもできる身近な水道屋さん
浅間設備工業株式会社
☎ 0267-67-4130
FAX 0267-68-5831
E-mail info@asamasetubi.co.jp
<http://www.asamasetubi.co.jp>
住所 佐久市岩村田住吉町159-3 (佐久I.C)

